

## あいち森と緑づくり事業評価報告書の概要版（冊子）における委員意見と対応（案）

意見	対応（案）
<b>全体構成</b>	
示された構成方針で進めて良い。	この方針を進めます。
全体的な構成方針については、意義なし。 県民目線で分かり易くなると思う。	
現行版とは違い、馴染みやすい感じに仕上がっている。	
現行版に比べると大幅に見やすくなっている。	
親しみやすく、手に取って読んでみようというデザインになった。	
<b>表紙の写真</b>	
多くの県民が、表紙を見て知っている場所で、かつ森と緑づくり税が活用された場所にすれば、メッセージ性が強く打ち出せるのではないか。	内容ページの柔らかいデザインに合わせて、表紙も親しみやすく、手に取ってもらえるデザインに修正します。 （案：体感ツアー参加者募集チラシの背面にある木目調のデザインを採用）  山・街・里山のイメージができるようにイラストを再修正します。
森と緑づくり事業のそれぞれ3つの用途がややイメージしにくい。可能であれば ①間伐が実施された美しい人工林の写真 ②手前に田畑があり背景として里山が迫っているような写真 ③都市緑化を象徴するような（都市公園）写真があれば、なお良い。	
表紙下部の写真はどこのものか。 この写真が県ゆかりのものであるなら良いが、県の建物、又は都市の緑地が良い。	
表紙の斜めの写真の組み合わせは、オーソドックス（平行）にした方が良い。	
事業名に「あいちの…」と取って「の」を入れているのか。	
<b>キャッチコピー</b>	
「皆様のワンコイン 500 納税で暮らし快適！豊かな未来！」とあり、当事者意識を持たせる表現だが、“暮らし快適”が私的にはイメージできず、人間の自己中心的（エゴ）な感じがする。 また、通販の広告のようである。	修正しました。

<p>“ワンコイン納税”の斜め赤のデザインがスーパーのチラシのようである。</p>	
<p><b>全体デザイン及び写真</b></p>	
<p>森と緑が強調されている点は良いが、人の気配が感じられない。 「人が関わっている」、「私たちの生活と繋がっている」というイメージが伝わる写真やイラストを入れた方が良い。</p>	<p>人の気配が感じられ、かつ人が関わっていることがイメージできるように事業全体像のイメージ図にイラストを追加します。</p>
<p>緑を基調色とすることは良いが、全体的に大人しい色使いである。明るい色（ピンク・スカイブルー・紫等）を使えばインパクトが出せ、全体的にも可愛い感じに仕上がるのではないか。</p>	<p>緑を基調色として、全体的に明るくなるように色や色彩を修正します。</p>
<p>内容ページのそれぞれの写真が小さい。もっと大きくしたほうが良い。</p>	<p>レイアウトを考慮しながら、出来る限り大きくします。</p>
<p><b>内容ページ</b></p>	
<p>全体的に、まだ行政の報告書的要素が散見される。説明の文字が多すぎる。 (文字数が多いと読んで貰えないリスクが高まる。目標は示された案の文字数を半分にするぐらいの大胆さが必要)</p>	<p>文字数を減らし、写真・イラスト・図表で分かり易くなるよう修正します。</p>
<p>出来る限り写真やイラスト、図表を見るだけで分かるようにする必要がある。</p>	
<p>屋上緑化の写真はどこのものか。森と緑づくり事業地のものか。</p>	<p>写真やイラストはすべて森と緑づくり事業に関わるものに置き換えます。</p>
<p>“実際に…”という言葉が幾つも使われている。特に「4事業の全体像」で「実際にこんな活動を行いました」と記載されているが、説明部分にも〇〇年度までに行ったと記載されているので、くどい印象を受ける。</p>	<p>重複を省き、簡潔な表現に修正します。</p>
<p>あいち森と緑づくり事業で、県民の皆様からいただいた税額が全体でどれくらいの規模で、かつ各取り組みにどのように配分されているかを記載した方が事業の透明性を図るうえでも良いのではないか。</p>	<p>イントロダクションページ (P1~P2) に盛り込みます。</p>